

2024年12月25日

各位

株式会社北洋銀行

北海道産農畜産物の消費拡大に向けた取組みについて -クリスマスプレゼントに道内児童養護施設へ米粉バウムクーヘンを寄贈しました-

株式会社北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、北海道農業の生産基盤の維持・強化に寄与するため、2021年度から継続して北海道産農畜産物の消費拡大に向けた取組みを実施しております。

今年度第2段の取組みとして、道内児童養護施設(22施設)に対し、北海道産の米粉を使用したバウムクーヘンをクリスマスプレゼントとして寄贈しました。

米粉の消費拡大は、食料自給率の向上や水田の維持を図る上で重要であるため、本取組は地産地消への理解醸成のほか、子どもたちに米粉を知り、好きになってもらうきっかけづくりを目的としています。

当行は引き続き、北海道の基幹産業である農業の持続的な発展を通じて、道内経済の発展に貢献してまいります。

1. 米粉バウムクーヘン最終寄贈の概要

(1) 日時 2024年12月24日(火)

(2) 寄贈先 社会福祉法人 よいち福祉会 櫻ヶ丘学園

2. 寄贈の様子



左から順に 櫻ヶ丘学園 菅園長、北洋銀行余市支店 織田支店長、阪東行員



3. 参考: 当行における2024年度消費拡大の取組み

■第1弾: 道内児童養護施設への北海道米寄贈 (初回寄贈: 11/13、その他: 11/18以降)【実施済】
クリーン農業により生産された「YES!clean」の新米ななつぼし(約1.5トン)を寄贈

■第2弾: 道内児童養護施設への米粉バウムクーヘン寄贈 (12/13~24)
水田維持への寄与などが期待される米粉(道産)使用のバウムクーヘン(計241箱)を寄贈

■第3弾: 本部7階応接室における北海道産ロングライフ(LL)牛乳、乳飲料の設置 (12/16~1/20)
食品ロス削減を目的に牛乳消費が落ち込む年末年始にLL牛乳等(約900本)を来訪者へ配布



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。